

## まちの話題

町的话题を紹介しています。  
皆さんの身近な情報をご連絡  
ください。

連絡先  
企画財政課広報広聴係  
電話 25 - 2136

### 二十歳を祝う成人式に44人が参加

1月5日、プラネット97で新成人となった男性25人、女性19人、計44人が、華やかな振り袖やスーツに身を包み、平成19年清里町成人式に出席しました。

式では、二俣教育委員長が「社会人としての責任を果たし、地域社会の重要な担い手として若い力を充分に発揮して欲しい」と式辞を述べたあと、新成人を代表して加藤万葵さん（上斜里中）が「これまで、地域の皆さんをはじめ多くの方々を支えられてきました。

これからは一人前の大人として権利と義務、社会的責任を果たしたい。将来に対する不安を抱えています。持ち前の若さとパワーで自らの道を切り開いていきます」と謝辞を述べました。式に参加した皆さんは成人としての権利と責任をあらためて真剣に考えるとともに、成人になった実感をかみしめている様子でした。



### 敬老の記念に真心こもった手作りの一品

自治会内75歳以上の方の敬老祝いに、上斜里中自治会（会長 佐藤達夫さん）で、手作りの瓢箪（ひょうたん）飾りづくりが行われました。

これは、自治会での敬老会には対象者全員が出席することが難しいため、多くの方を祝えるよう話し合いを持ち、自治会内の方々栽培した瓢箪を使った記念品を対象者全員の方に贈ることとしたものです。

瓢箪飾りは、春に種をまいて秋に収穫した後、中身を取り出して約2ヶ月間乾燥させ、全体の塗装と一つひとつ丁寧に「寿」の文字を書き入れています。さらに、台座となる座布団も手作りし、飾り紐とあわせて完成。手間はかかるものの真心こもった記念品ができあがりしました。



### 真冬の花火大会が行われました

12月23日、町内向陽地区の雪で埋め尽くされた農地に約800人が集まるなか、3年ぶりとなる「真冬の花火大会」が行われました。

町内の農業青年を中心に約30人が実行委員会を組織し、前回同様、町民に花火経費の出資を求めたところ、約100件のオーナーが賛同。それぞれからの「家族の健康を願って」「来年一年良い年でありますように」などのメッセージとともに雪の舞う夜空に打ち上げられました。



### 書初席書大会が行われました

1月7日、プラネット97で書道協会主催による第28回書き初め席書大会が行われました。

幼稚園児から中学生までの67人の参加者は、正月らしい「もち」や「ゆき」、「新年計画」などの課題文字を一字一字ゆっくりと丁寧に、大人顔負けの筆さばきで軽快に書きあげていました。



## 今年一年の安全を願って出初式が行われました

1月6日、厳しい寒さのなか約100名の消防団員が防火の誓いも新たに、市街地を分列行進するなど、清里消防団出初式が行われました。



この後、プラネット97で勤続表彰等の

- 各表彰が行われました。各表彰者は次のとおりです。 敬省略
- 平成18年中無火災表彰分団 第三分団 (2千52日)
  - 退職消防団員に対する消防庁長官表彰(第一号報償) 片岡保弘、篠田征一、松崎正美、山下敏浩
  - 北海道知事表彰(二十年勤労章) 浅野修一、佐藤繁雄、高尾安泰(十年勤続章) 枝崎裕子、藤野貴大、塚田 勉
  - 北海道消防協会表彰(二十年勤労章) 浅野修一、田中一浩、桑名信吉、佐藤繁雄、高尾安泰(十年勤続章) 枝崎裕子、藤野貴大、塚田 勉
  - 北海道消防協会網走地方支部表彰(功労章) 前橋和美、竹端義弘、糸川三三敏、奥水 薫、石井幸二
  - 斜里地区消防組合表彰(功績賞一号) 堀 覚、石井幸二、荻原 清(功績賞一号) 美馬八重子、井田美和子、櫻村 裕
  - 阿部耕一、山本祐次、浅野裕之(優良賞三号) 上本芳博(特別功労賞) 美馬八重子、山口喜代志

## 子育て支援センターが開設しました

1月10日、町内の子育て支援の拠点となる「子育て支援センター」が清里保育所内に完成し、開設式が行われました。開設式には、就学前の子どもを持つ親子や関係者など多くの方が集まり、さっそく広く明るい室内では子どもたちが元気に遊ぶ姿が見られました。



子育て支援センターでは、子どもが自由に遊べる遊具と広いスペースを確保し、普段の開放日や親子遊びの行事のほか、子育てに関する相談に応じたり講座の開催や育児サークルの支援も行っていきます。

育児をされている方は、広い場所で子どもを自由に遊ばせたり、一緒に遊んだり、親同士の仲間づくりの場として活用されてはいかがでしょうか。

## 冬を満喫した歩くスキーツアー



1月21日、丸山墓地周辺から神威萱野会館までのコースを巡る歩くスキーツアーが行われました。

雪景色のなかで秀峰斜里岳やオホーツク海を眺めながら10キロ以上を巡るツアーには38人が参加し、冬の日を大いに満喫しました。

この神威パノラマコースは、中盤に急勾配のあるコースですが、辺り一面に広がる雪原や遠くに望むことのできるオホーツク海の流水の景色には参加者も大満足し、歩く疲れも癒される思いでした。

## 江南小学校の児童が竪穴住居づくりを体験



12月25日、江南小学校で全校児童と父母の約50名が集まり、3ヶ月かけて建設した「縄文時代の竪穴住居」の完成式が行われました。

児童代表者によるテープカットや竪穴住居の中心に設置された囲炉裏への火入れ式、その後昼食会なども行われとても楽しい一日となりました。児童たちは、「とても大変だったけど、みんなで力を合わせて作った住居で食べる豚汁の味は最高」と話していました。

地域ぐるみの今回の取り組みは、子どもたちの大きな思い出になったと同時に、夢をもつことの大切さを学び、そして自らの力で成し遂げる大きな自信となったことでしょう。